



文化の秋・学びの秋 感性を豊かに

10月はいろいろな文化・学びに出会う機会がたくさんありました。音楽・伝統芸道・講演会……。それぞれの出会いに、生徒それぞれが心を動かされたことでしょう。

ゴスペルコンサート 芸術鑑賞会

前期と後期の中間日は毎年中高で、落語や演劇など、いろいろなジャンルの芸術鑑賞会を催し



ます。今年は、5日にゴスペルの4人グループ「Star Lights」を迎えてのコンサートでした。前半は、讃美歌などこれぞゴスペルという曲を中心に、圧倒的な歌唱力と美しいハーモニーに魅了されました。その後、本校合唱部とのコラボで、ひと味もふた味も違った校歌を披露。後半は「ハナミズキ」や「世界に一つだけの花」などおなじみの曲も交えて、ラストは全校生徒、総立ちで大いに盛り上がりました。

10日、県の連盟の方々を迎えて、吟詠剣詩舞の鑑賞会が行われました。独特の節をつけた漢詩の吟詠に合わせて、扇や剣を持って舞う伝統芸道に、未知であるがゆえに、生徒にとっては新鮮であったようで、後のアンケートには「やってみたい」答えた生徒が何人もいました。現在、県にこの伝統芸を引き継ぐ中高生がいないということで、3年後に和歌山で開催される全国高校総合文化祭に向けての広報活動を兼ねています。「グローバルな社会であるがゆえに、日本の伝統のすばらしさを伝えられる日本人に」という会長さんのメッセージが心に残りました。12月には体験講習会も計画されています。

吟詠剣詩舞との出会い



世界一周自転車の旅 人権平和講演

17日、旅行作家の石田ゆうすけ氏を迎え、中高で人権平和講演会が開催されました。石



田さんは、7年半をかけて自転車で95000kmを走破し、世界一周87か国を巡った経験を熱く語ってくれました。各国で撮ったスライド写真が変わる度に、その美しい光景に生徒からはため息が出るほどで、あたかも自分も世界一周をしているような気分になります。しかし、後半は、アウシュビッツで見たおびただしい数の眼鏡の山、ポーランドで出会ったキノコを売る足の不自由な老人のプライドと人情、アフリカで感染症を患い生死の間を彷徨っていた時に見た朝日に「生きていること

が見えた」実感、内戦で混乱を極めるシリアで、笑顔とジョークで精一杯もてなしてくれたイスラムの家族など、世界平和と人権、そして「生きるということ」を深く考えさせられる内容でした。

国境を越えてつながる～DFG来校



10月22・23日の二日間、本校と姉妹校提携を交わしているイギリスのダートフォードグラマースクール（DFG）から、34名の生徒（高校生）が来校しました。DFGとの交流が始まったのは11年前。歓迎式では、日本語教員のゾイ先生から「この日が来るのを毎年心待ちにしています」と挨拶があり、その後、生徒全員が日本語で、ラグビー・トロンボーン・ゲーム・アニメなど自分の趣味を紹介しました。（中には盆栽が趣味だという生徒も）交流授業では、中3は綾取りやコマ回し、箸使

いなど日本の遊びを一緒に楽しみ、中2はミニ運動会でラジオ体操・三人四脚リレー・大縄跳びで大いに盛り上がりました。特に、大縄では、はじめは1回も跳べなかったのが、練習を重ねるうちに8回跳べたチームもあり、大喜びでした。その後は、各クラスで掃除を経験しました。（イギリスの学校では、生徒は掃除しないようです）どの活動にも、DFGの皆さんは興味津々で、一生懸命がんばってくれました。それに応えて向陽中生も英語は片言でも積極的にコミュニケーションをとっていました。外国人とのコミュニケーションは慣れるのが第一。きっと、「もっと英語を話せるようになりたい」と英語学習への意欲を新たにした生徒も多いことでしょう。23日は高校環境科学科1年生が、SSHの一環として、大学教授を交えた共同実験、科学研究を通じて学びの交流を深めました。



来年につなぐ～学校説明会

6日（土）、学校説明会が開催され、今年も1000人を超えるたくさんの来場者で賑わいました。「向陽中で成長した生徒たちの姿を見ていただく」ことをコンセプトに、3年生の天野君・津村君・藤田さんが「特色ある授業」「向陽の行事」「向陽中の一日」について紹介しました。その中のサイエンスβの紹介では、理科部が巨大空気砲を実演。大きな箱から発射された煙の輪はきれいに体育館の後まで飛んでいき、会場ではどよめきが起こりました。また、環境学では2年の保田君が「大池のトンボの調査」について発表しました。そして、3年生の



中村君がDFGとの交流を流暢な英語で説明。1年生による英語クイズ大会「Who am I?」では、会場の小学生全員が参加し盛り上がりました。最後は部活紹介。すべての運動部の代表がユニフォーム姿で舞台に登場し、パフォーマンスを入れながら紹介しました。説明や実演、受付や会場案内などで携わった30名余りの生徒たちの姿を、きっと小学生たちは憧れの目で見ていたことでしょう。皆さんの頑張りは、来年の向陽中へ、しっかりとつながっていきます。

